

平成27年度一般会計当初予算 290億7千万円を可決

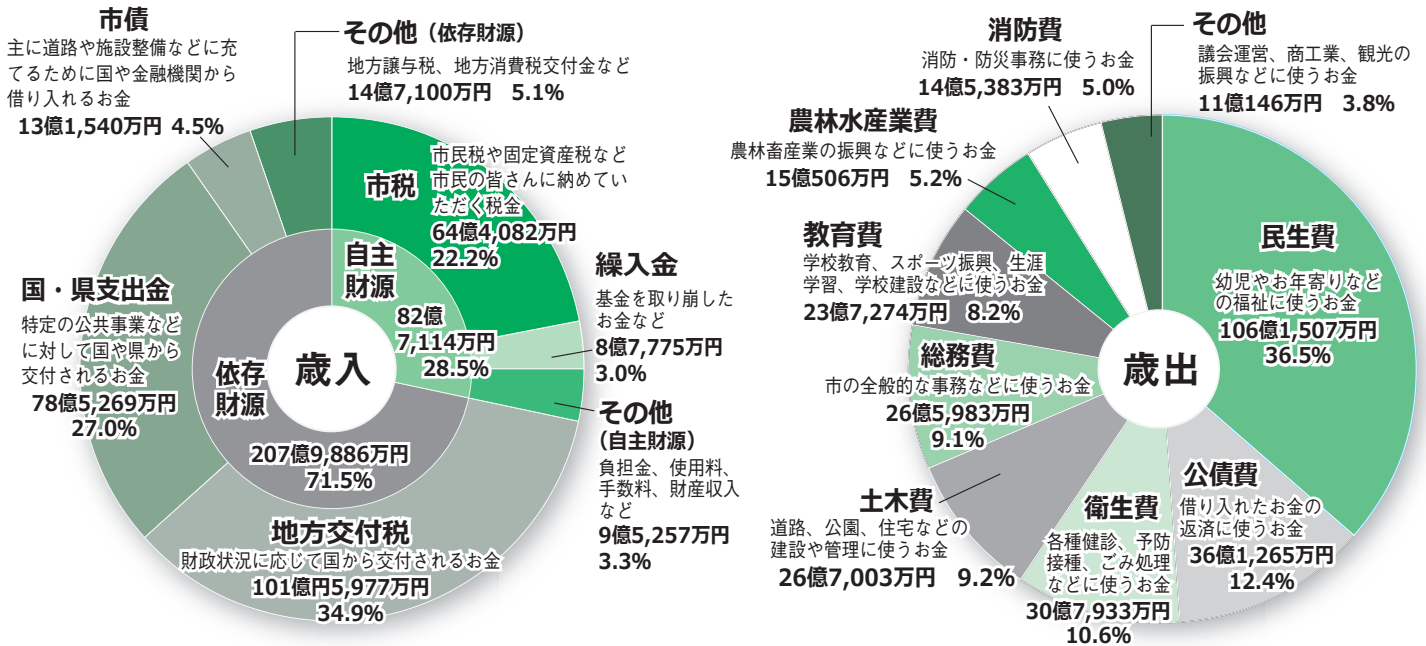
～安心・安全な暮らしを守る重要な施策、元気につながる取り組み、将来負担の軽減につながる取り組みに重点的に配分～

予算審査特別委員会

平成27年度の一般会計、特別会計、企業会計の各予算は、3月11日、16日、17日に開催された議員全員で構成される予算審査特別委員会の場で審議されました。主な質疑は次ページに掲載しています。

一般会計以外の予算については、広報とわだをご覧ください。

■一般会計当初予算290億7,000万円の内訳（1万円未満は四捨五入）



～市政に届いた市民の声～

皆様の代表である議員が、一般質問などで取り上げたことが実施されます

○校務用パソコン導入事業

事業の趣旨 校務運営の円滑化と授業への活用のため、小学校及び中学校の全教職員へパソコンを配備する

【議員は教職員用のパソコンが十分整備されておらず、私物のパソコンを使用している実態を踏まえ、教職員の負担を軽減するために整備の必要性を訴えました】

○主食用米再生産緊急支援事業

事業の趣旨 平成 26 年産米の概算金が大幅に下落したことから、農家の再生産を支援するため、主食用米の種子購入等生産費に対する助成と、米価下落に伴う収入減少に対する補填を行う

【議員は概算金の大幅下落に対する稲作農家への支援を訴えました】

○地域おこし協力隊事業

事業の趣旨 総務省の事業である「地域おこし協力隊」を活用し、東日本大震災以降観光客の入り込み数が伸び悩み、地域の活力が失われている十和田湖畔地区や焼山地区の観光再生や地域活性化を図る

【議員は「地域おこし協力隊」を活用し、地域の活性化と若者定住の必要性を訴えました】

この他にも、B-1 グランプリ全国大会への支援をはじめ、農業振興、観光振興、子育て支援など、さまざまな事業に市民の声が反映されています。